

2021.9.12  
神戸新聞

(第3種郵便物認可)



㊦大きなスライダーを勢いよく滑る子どもたち ㊧ネットクライミングの遊具も設置された＝いずれも豊岡市立野町

**豊岡** 豊岡市立野町の中央公園（通称・SL公園）の大型遊具がリニューアルを終え、一般開放されている。3種類のスライダーや、ネットクライミングなどで遊ぶことができる。（石川 翠）

# 滑って登って 元気いっぱい

## 大型遊具を改修

### 中央公園 「低年齢」の安全に配慮



新調された大型遊具

同公園の遊具は、設置から27年が経過し、老朽化で一部が使用できない状態になっていたため、市が国の交付金を活用してリニューアルした。遊具は全部で11基ある。メインは、3〜6歳対象の1基と、6〜12歳対象の1基が連なった高さ最大約7

メートルの複合遊具。幅や傾斜などが異なる3種類のスライダーを中心に、滑ったり登ったり、ぶら下がったりして遊べる。周囲には、ネットクライミングやターザンロープ、シーソーなども配置されている。これまでは遊べる遊具が少なかった低年齢の子どもも楽しめるよう配慮。付き添いの保護者が子どもを補助しやすいように階段などが設置されている。開放初日の10日には、市内の「チャイルドハウスこども園」の園児らが遊びにやって来た。早速、最新の遊具で遊んだ宮下莉莉ちゃん(5)は「大きな滑り台をお友達と一緒に滑って面白かった」と話していた。

豊岡市は、中心部の「中種の滑り台を中心に、登って中央公園」の子ども向け遊具たり、ぶら下がったりできを一新した。10日に供用が開始する大型遊具を導入。登って始まり、地元の保育園児らが遊ぶネットや幼児向けの遊具がさっそく「初遊び」を楽しんだ。

「SL公園」の通称がある市の都市公園で、遊具の老朽化が進んでいたため、市が計4800万円をかけて27年ぶりに新調した。

高さ約3メートルの「フリーフォールスライダー」など3

### 「SL公園」遊具一新 豊岡市



新調された遊具を楽しむ園児たち（豊岡市で）

保護者らが付き添いやすいように遊具のデッキを拡大しており、都市整備課は「幅広い年齢層が楽しめるように工夫した。より多くの市民が憩う場」とPRしている。

2021.9.11  
読売新聞